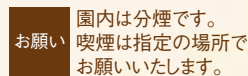


明治はじめ、医祖【長与専斎先生】が「国民の健康の元をつくるには温泉と自然に親しむことが第一」と、熱海梅園を開くことを提唱。横浜の豪商【茂木惣兵衛氏】らがこれに応じて、1886年（明治19年）に今の梅園のあるところ山林二町五反（2.5ヘクタール）を開いて、梅・松・桜・桃・楓・杉・柿・柳など3,000本を植えたのがはじまり。2007年（平成19年）より篤志家の寄附によるリニューアル工事（早咲きの梅の活性化や生育環境の改善）が行われ、梅やもみじが見やすくなり、「日本で最も早咲きの梅（11月上旬から開花）」・「日本で最も遅いもみじ（11月下旬から色付き）」にふさわしい公園に生まれ変わりました。



●伊豆箱根バス 0557-81-8231 (梅園方面運行)
●東海バス 0557-85-0381

2007年(平成19年)末完成、園内「韓国庭園」の上に設置。梅まつり・もみじまつり期間のみ運営。7~8人が座れるスペースで屋根がついていますので、小雨でもご利用頂けます。

2000年(平成12年)9/23、日韓首脳会談が熱海市において開催され、その翌日、森総理大臣と金大統領が梅園を訪れたことを記念して、2001年(平成13年)、およそ400年前の韓国の庭園を再現したもの。内庭面積900㎡、外庭面積300㎡

「てるてる坊主」「シャボン玉」などの著名な作曲家、中山晋平の別荘を西山町から移築し、公開しています。

館内には、作曲に使用したピアノや、直筆の譜面、当時のレコードなどを展示しています。

人工滝。
滝の裏側から、流れ落ちる滝を見ることができます。
※ポンプ調整のため流水がない場合がございます。
高さ13m、幅28.5m

【時刻表は2026年9月現在の情報です。変更になる場合があります。】

※日程等につきましては、主催者・天候等の都合により変更になる場合があります。※梅園周辺は大変混み合いますので、公共交通機関をご利用下さい。

■準グランプリ…1点(熱海温泉宿泊補助券1万円分)
■その他の賞…数点(熱海の名産品等)

